

アンチ・ドーピング用語集

アウトリーチ 辞書によると、一般的には

1. 〈文〉外に手を伸ばすこと
2. 〔地域社会などに手を差し伸べる〕奉仕〔支援〕活動

であるが、ここではアンチドーピング活動の啓蒙・教育ツールを配布ないしはプロモーションすることを指す。

シャペロン 下記の役割を行う人。検査対象者が外国人の場合、外国語を理解できる人が望ましい。

1. 選手への通告（試合終了後に選手にドーピング検査の対象となった旨を伝える）
2. ドーピング検査室への誘導および看視、付き添い業務
3. その他、ドーピング検査の運営に関する補助業務（ドーピング検査室への入室管理など）

ADAMS アンチ・ドーピング管理システム（Anti-Doping Administration and Management System）。アンチドーピング活動に関わる情報を WEB 上で総合的に管理することができるシステム。ミッションオーダー（Testing Order）の入力などは、このシステムで行う。

ADEL WADA が世界的に提供している、クリーンスポーツ教育のデジタルプラットフォーム。

CCQ 世界規程に対する遵守状況を、署名当事者に確認する質問票・アンケート（Code Compliance Questionnaire）。

DOC ドーピングコントロールオフィサー（Doping Control Officer）。ドーピング検査を実施する為の認定資格。またドーピング検査員のこと。

IF 国際競技連盟（International Federations）。各国の競技団体を国際的に統括する非営利組織。

JADA 日本アンチ・ドーピング機構（Japan Anti-Doping Agency）。〒112-0002 東京都文京区小石川 1-12-14 日本生命小石川ビル 4F に事務機局がある。

NADO 国内アンチ・ドーピング機関（National Anti-Doping Organization）。

OOCT 競技会外検査（Out Of Competition Test）。協議会時のみの準備と異なり、時間やコストがかかるため、実施のハードルが高い。

RTPA 居場所情報登録選手（Registered Testing Pool Athlete）。JADA または国際競技団体（IF）の検査対象者登録リスト（RTP）へ登録された競技者のこと。RTPA は競技会外検査に対応するために居場所情報を提出しなければならない。

Testing Order Managemet ミッションオーダーリスト。競技会内外でのドーピング検査についての必要事項を入力する ADAMS 内のシステム。競技会内/外、競技会名、日時、被検査選手リスト、ドーピング管理者などを入力する。

TUE 治療使用特例（Therapeutic Use Exemptions）。

病気やケガの治療のために、禁止物質や禁止方法を使用せざるを得ない場合には、特例として承認を得た上で使用が可能となる。承認を得るためには、TUE を取得するための条件を満たす必要がある。

- アスリートは、治療目的のために禁止物質・方法を使用する前に、その禁止物質・方法に対して TUE 申請を行う。
- 申請された TUE は、アンチ・ドーピング機関で審査され、付与か却下が決定される。

- TUE が付与された物質・方法については、使用が認められた用量と期間にて使用できる。
- TUE が却下された場合、その禁止物質・方法の使用をすることは違反となる。

WADA 世界ドーピング防止機構 (World Anti-Doping Agency)。